

地域センター病院として新しい協会病院が開院しました

富良野協会病院は、富良野市住吉町（富良野駅東側）に移転新築を進めていたところですが、このほど完成し、4月21日には竣工式と落成記念祝賀会が開催され、5月1日から待望の診療が開始されました。新しい協会病院は、社会福祉法人北海道社会事業協会富良野病院（略称富良野協会病院 篠田裕一院長）が、富良野圏域の二次医療を担う中核施設として、建設を進めてきたものです。



△4月21日に行われた竣工式

新病院は鉄骨鉄筋コンクリート造8階建てで述べ床面積は1万8,931.72㎡。駐車場は約380台、駐輪場も200台分確保されています。

新病院の診療体制は、内科、循環器科、呼吸器科、小児科、外科、整形外科、産婦人科、耳鼻咽喉科、眼科、皮膚科、泌尿器科、麻酔科、リハビリテーション科の13科が従来同様確保されています。

入院施設は、一般病床が220、療養病棟が40、感染症病床4、合わせて264床となっています。

この一般病床の中には、富良野圏域の病院や医院と連携して地域センター病院の医師が共同で治療にあたるための開放型病床（病床を持たない開業医が使用できる病床）が20床確保されたことが大きな特徴になっています。

また、最新のCTやMRIのほか、新たに体外衝撃波結石破砕装置や骨粗しょう症診断機器などの高度医療機器が導入され、急性期医療や救急医療などに大きな役割を担うことになりました。この機器は1次医療を担う医師（かかりつけ医）が検査の際などに活用することができ、地域医療の振興発展に寄与することが期待されます。

この開放型病床と高度医療機器の整備にあたり、富良野圏域5市町村で約8億円を負担することになっています。

診療時間など詳しいことは、富良野協会病院まで（☎23 2181）お問い合わせください。

町政への理解と協力を願う

平成19年度出張員会議



整備事業、林業の振興など本年度に取り組む事業の概要と、町政執行にあたっての所信と基本方針を述べ、各担当課長からそれぞれの所管事項について説明を行いました。

このあと質疑応答に入り、出張員の皆さんから「ゴミの分別」についてや「町内会の再編」についてなどの質問が出され、町としての考え方を述べるとともに、今後の町政に理解と協力をお願いしました。

町政執行にあたり、町民皆さんの協力を願うことを目的に毎年行われている出張員会議が5月17日、みなくるで出張員の皆さん24名と連合町内会長2名が出席し開催されました。

会議では、はじめに池部町長から挨拶を含めて、現在の地方自治の動向と行財政改革の取り組みや、金山地区への特別養護老人ホームの建設、地域再生計画に認定された旧金山中学校施設の活用、特定中山間保全

